



Weekly Report

青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向けて
昂って行く姿を示している。



地区の標語 **原点に帰りロータリーの心を学ぼう**
クラブの標語 **親睦と奉仕でクラブの和を深めよう**



5. 11月20日のIMに当クラブよりパネラー1名の選出要請がございましたので、赤尾会員を推薦致しました。

◎幹事報告 幹事 橋口 洋三

来週9月13日(水)は、いよいよ多摩グリーンRCの創立5周年記念式典です。よろしくお祈りします。

1) 地区青少年交換委員会から来日学生歓迎会とオリエンテーションのお知らせが来ています。

9月9日(土)日本青年館で行います。

来日学生、メッテ・オールセン、派遣学生、小野、鈴木、和氣さんが出席。クラブからは宮本カウンセラー、風間第1ホストファミリーと幹事の私が出席します。

2) 地区新会員のためのロータリー情報セミナーのお知らせが来ております。出席対象会員のお手元に配布されていると思いますが、9月28日(木)京王プラザホテルで開催されます。先週の例会で赤尾情報委員が発表した通り、出席される方は、入会2年未満の新会員です。鶴海、伊東(巖)、遠藤(立)、伊澤、坂田、田畑、山崎会員、出席よろしくお祈りします。

3) 第2回地区職業奉仕委員長会議が9月25日(月)虎ノ門パストラルで開催されます。藤本職業奉仕委員長、出席よろしくお祈りします。

4) 昨日9月5日は何の日か御存知でしょうか。多摩グリーンRCの創立記念日です。そこで遅くなりましたが、今までのニコニコのお金(4,411,158円)を毎年創立記念日に満期自動継続の1年ものスーパー定期にしました。

第236回例会報告(9/6)

(1995年～1996年度第9回例会)

◎司会 SAA委員会 副委員長 杉田 誠

◎点鐘 会長 萩生田茂夫

◎国歌「君が代」 } ソングリーダー 菊池 敏

◎ロータリーソング「我等の生業」

◎お客様紹介 会長 萩生田茂夫

ウォルター・ストーク様(日本アグファ・ケハルト株式会社代表取締役)
白鳥 正利様(株式会社フジカラーサービス)
越智 敦様(アジアカラー株式会社)
由井 重光様(多摩RC)

◎会務報告 会長 萩生田茂夫

1. RIより標準ロータリークラブ定款細則が届きました。定款はすでに例会において解説済みですが、細則変更についてはまだ例会で承認されていないので、9月20日の例会で改正を行いたい。
2. 風間会員の出席義務免除についてですが、クラブ細則第9条を適用し、再々延長願の10月末まで出席義務規定免除願を承認致しました。
3. 会員増強については純増6名の目標を達成する為に会員皆様の御協力を切に御願います。
4. 佐方伍郎会員の退会願については本年7月31日付の退会を承認致しました。

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会 長: 萩生田茂夫 副委員長: 吉尾警太郎 山崎 光一
幹 事: 橋口 洋三 委 員: 平野行廣 飯島裕美 根本泰守
会報委員長: 小城 章員 関岡俊二 城倉正博 戸田昭寿

事務局: 東京都多摩市落合1-9-1
多摩センタービル7階
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会場 多摩そごう7F バンケットルーム

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会委員長 伊東 巖

ウォルター・ストーク様：創立5周年誠にありがとうございます。

萩生田茂夫：昨夜は野球部の皆様大変ご苦勞様でした。

橋口 洋三：卓話にウォルター・ストーク様をお迎えし、久しぶりに由井特別代表が例会に出席して頂いたのです。

橋口 洋三：多摩東分区の野球大会で優勝候補の調布RCに12対10で勝ったのです。

関岡 俊二：ウォルター・ストークさんようこそ。卓話楽しみにしています。

赤尾 恭雄：ストークさんようこそ。卓話楽しみにしています。

戸田 昭寿：9月2日娘がロンドンへ向け成田を発ちました。2年間の予定ですが、成長を祈って！

大熊 将夫：お客様ようこそおいで頂きました。

海野 栄一：ゴルフだけではありません。野球も強いのだ！

伊東 巖：野球部の皆様、昨夜はご苦勞様でした。応援に行けずご免なさい。

本日合計 金29,000円 本年度累計 金225,106円

◎出席報告 出席委員会委員 小坂 一郎

会員総数	54名
出席者数	46名
本日出席率	85.19%
8/23 出席率	90.74%

■ メークアップ 4名

猪股 末男 (9/5多摩)

伊藤 英也 (9/5米山委員長会議)

坂田 育男 (8/29・9/5多摩)

高村 弘 (9/5多摩)

■ 欠席届出者 6名

平野 行廣 石田 政昭 風間 茂穂

森田 舞子 根本 泰守 奥田 文夫

■ 欠席者 2名

北村 幸彦 中山 恒武

◎雑誌委員会

副委員長 飯島 裕美

ロータリーの友がみなさんのお手元に届く前に、一冊だけ雑誌委員長の所に送られてきます。理由は、委員長は必ず全体に目を通し、内容を把握し、積極的に少なくともクラブ会員には紹介するという事になっております。これは今年度の委員会の方針であります。という事で9月号の紹介をさせていただきます。

大松委員長から様々のアドバイスがありましたが、独断と偏見の飯島としては、今月号のテーマと思われる「自然保護と環境保全」。もう一つこれからのロータリークラブのあり方につきましては解説的紹介は止めまして、友愛の広場の中から「メイクアップの礼賛」と「中国にロータリーの夢」を紹介させていただきます。

「メイクアップの礼賛」につきましては、分かっていると言えば分かっている事かもしれませんが、メイクアップは補いのための制度かもしれませんが、むしろ積極的にメイクアップする事がその人の世界をより広くする、というような事を福岡中央の会員の経験から語っております。又「中国にロータリーの夢」は、米山奨学生として来日している方からの寄稿ですが、その一部を紹介させていただきます。

「私はロータリー奨学生になって、毎月いただく「ロータリーの友」を読んで将来の夢がどんどんはつきりとしてきました。私の将来の夢は、日本の皆さんのように、最高の人生をつくり、将来中国でロータリークラブを創立したいことです。』いいですか。会員でない方が「ロータリーの友」を読んです。会員である我々は「ロータリーの友」を読む事は義務であります。そして理解し、具体的に意義ある行動、活動のエネルギーとしていただきたいと思えます。

◎親睦活動委員会

委員長 伊東 巖

10月22～23日の旅行の詳細については近日中に報告しますが、翌日に近辺の散策とゴルフを計画しております。会費については18,000円と決定しております。

◎「創立5周年記念事業」について 実行委員会委員長 田中 實

服装は全員平服にてお願い致します。

会計 藤本 吉文

会費の支払は本日が期限ですのでよろしくお願い致します。今日都合が悪ければ一両日中に記念事業口座にお振り込み下さい。

これからの卓話 (予定)

9月27日 クレイグ・ダンフィー様 (来日交換学生)
10月4日 高野 範城

(今週の担当：戸田 昭寿)

【卓 話】

「イニシエーションスピーチ」

山崎 光一



只今、ご紹介頂きました山崎でございます。

諸先輩方の前で、お話をさせて頂くことになりまして大変、緊張しております。しばしの間、お時間を頂きたく、お願い申し上げます。

先ず、私の自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和27年8月8日に富山県にて生まれました。生まれた時は、超未熟児で、母親の片手に乗ってしまうくらい、小さな赤ん坊でした。それでも、今日あるのは親のお陰と感謝しております。

さて、「富山県」と言いますと、先ず「北陸」「葉売り」「ホタルイカ」というイメージで、地図上では今ひとつはっきりしない…そんなイメージではないでしょうか？最近ある新聞のデータで、確か六項目のアンケート調査があり、その中で、「住みたい街」で確かベスト3に入っており、その他の項目でも2、3ベスト3に入っていたと記憶しております。確かに「立山連峰」あり、「富山湾」ありで、自然環境では申し分ない所であります。

私は、高校まで富山県にいましたが、「富山県人の特徴」を一言で申し上げますと『郷土に寄せる想いが、人一倍強い県民性』であると思います。

持家率の高さも、全国で一、二番であると思います。私の従兄の8割方、又、中学・高校時代の友人達も殆ど、地元に戻っております。ですから、昭和51年大学を卒業して就職の時（当時公務員が、人気の時期でありましたが）1番に「富山県庁」「市役所」「北陸銀行」「YKK」「警察」という順番であったと思います。ですから、私が野村証券に入社したと聞いたおばあちゃんが「株屋にしかいけなかったの。勉強できなかったんだね！」とよく言われました。

又、富山県人は「忍耐強いこと」「男女共よく働くこと」も特徴です。私は、以前札幌支店に勤務しておりました、地元の企業の取引銀行に「北陸銀行」をよく見かけました。それは、北陸や東北の人達が、その昔、新天地を求めて「屯田兵」として北海道に渡り、開拓作業に従事され、その方々の子孫が、現在も活躍されているそうです。

さて、お国自慢はこの辺にしておきまして「花の都東京へ」という熱き想いで、鈍行の蒸気機関車に乗って明治大学へ入学致しました。入学当時は、東大の安田紛争、浅間山荘事件以後の一連の学生運動終焉の時期であり、大学時代もストで4年間のうち2年間は、試験がなく、レポート提出のみでありました。そのお陰で卒業できたと思っております。ちょうど世の中は「神田川」という唄が流れ、「同棲時代」という言葉が流行し今の若い男女のようなファッションが流行している時期でした。大学では「雪隠神伝流」という居合道の「武田流拳法」をやっておりました。入学当時、下北沢の3畳1間7000円の下宿屋にいましたが、あまりにも狭く、共同便所の前で、かつ玄関口の部屋でしたので夜遅く帰ってくる先輩にその度起こされて、ついに出てしまいました。それで父の關係の学生寮に入りましたが、人数が100人位いまして、夜毎、先輩方の部屋まわりと、夜中の酒屋さんまわりで苦しめられました。ですから、親からの仕送りは、一晩で後輩と飲んでしまい、あとは工事現場のアルバイト中心で、家庭教師以外のアルバイトは大体しました。そのような訳で、学問以外の勉強が、大学時代にできたと思っております。そのような学生生活の後、昭和51年に野村証券に入社致しまして、立川支店を振り出しに、四国の松山支店、藤沢支店、札幌支店、虎ノ門支店、天王寺駅支店、鹿児島支店、そして今年5月の異動で、多摩センター支店と8回目の転勤でございます。各支店に共通しておりますのが、支店の裏が、すぐ近くに大体ネオン街があるということです。8回目の転勤でやっと、家庭と体を大事にできる、緑多い多摩センターに赴任でき、妻も妻の実家（昭島市）の両親も大変喜んでおります。

ただ札幌から鹿児島まで行きましたが、それぞれ特徴があり、どの地も心に残る良き思い出が一杯あります。又その間研修で、アメリカ、イギリス、中国、香港等に参りました。今行ってみたい所は、ベトナムとインドであります。この5月まで鹿児島支店にしまして、仕事で飛行機で約一時間乗って「徳之島」に参りました。ここは以前長寿日本一の泉重千代さんのお住まいになった所でありま

す。そこでは、90才代のおばあさん方が、元気で働いていらっしやいました。朝早く起きて、日中は畑仕事をされ、夜は黒砂糖の焼酎を飲んで早く寝るそうです。やはり、空気の良い自然の中で良く働くことが、一番の長寿の秘訣のようです。

十九年間営業マンをやってきました、私が一番大切であると思っておりますのはやはり「愛」であります。相手の喜ぶこと、欲していることを、徹底して無の気持ちでして差し上げる—これに尽きると思います。

当社の人間の特徴は、自分も含めて以下の3点であると思えます。①食事が異常に早い、②せっかちである、③セールスが来ると断れない、以上であります。

さて私もこの8月に43才になりまして、最近体力の衰えを感じております。深酒をした翌日はなかなか体力が回復しません。又近くの細かい文字を見るときは、眼鏡をはずさないとよく見えないようになりました。又先日人間ドッグをやり、バストとウエストが同じ93cmと聞いて、愕然としました。原因は不規則な食事、飲酒、及び運動不足であると思われます。5年前より土・日は4kmのジョギングをしている位しか運動はしていませんので、今後は妻とスポーツクラブに入会して、水泳とか、ゴルフの練習をしようかと考えております。私の両親は、平成2年に父が65才、母が58才で亡くなりましたので、両親の分まで長生きしないと申し訳ないと思っております。

まだ40そこそこの私から見ましても、当ロータリーの諸先輩方の、エネルギーな行動力には感服致します。やはり日常の節制及び、緊張感の違いがでているのかと思えます。

さて40才を越した頃より、「自分はどの自分を大事にしていかなければいけないのか？」と考えておりました。つまり、①個人としての自分、②企業人（社会人）としての自分、③家庭人としての自分、④地域住民としての自分、以上4つの自分であります。どの自分も大切なのはありますが、そのウェイトが年代と共に違ってくると思えます。どうしても、自分の領域以外に関しては殆ど知らない、又関心がない、という風になりがちです。私は今、①の個人としての自分、かつ、④の地域住民としての自分に注力していこうと思っております。そのような意味におきましても、今回ロータリーに加入させて頂き良い経験をさせて頂けると感謝しております。

さて、バブル経済の崩壊後の日本では「リストラ」が合

言葉になりました。その意味は「減量経営」「人減らし」に片寄っておりますが、真のリストラは「新しい状況下におけるお客様のニーズにこたえるため、ゼイ肉を落として新しい仕事も行う」ということであり、「お客様のために、その場合によっては、拡大再生産、新規事業も起こす」という理念の元に「その資金を生むために思い切って全仕事を見直し、ゼイ肉を落とす」という自己努力が本当のリストラであると思えます。リストラを行い、今の状況下を脱するためには、理念・目的そして勇気がいります。

そして色々な面で不透明な今日程、本質を見抜く眼が必要になります。例えば、幕末動乱のさなかに、徳川の分家一橋家の財政を担当して、その後、数百の事業を行った人で、渋沢栄一がいます。彼の生き方の根底は、常に時代をつくる「地下水脈」見出すことであります。つまり世の中で、普通の人間たちが持つ潮流とは別な流れが、この世に存在しており、うわへの潮流とは別な流れである「地下水脈」が、実は本当に世の中を動かしており、政治や社会の運動法則は、実を言えば、こっちの「地下水脈」にある。しかし、それはあくまでも底の方でひっそりと流れ続けているが、絶対に妥協しない。自分なりの原則を持って流れ続けている。彼は常にそれを凝視していたそうです。

今年は、大震災・円高・デフレ・サリン等天変地異でございます。極端な言い方をすれば、50年分の悪いことがまとめて全部出たと言う感じです。これ以上悪くならないと思えます。「景気」は「気」からと申します。私は最大の景気対策は「株高」であると思えます。マーケットを見ましても、米国も調整に入ってきました。いよいよ日本の出番です。これから間違いなく良くなっていくと思えます。ただ色々なことがありまして、ちょっと自信を失っているだけです。

先日テレビで橋本通産大臣が「元気を出せ日本！」と言っておられました。まさにその通りだと思います。今後も、本質を見失うことなく、「地下水脈」を凝視していき、元気で業務に邁進していきたいと考えております。まとまりのない話で、又、大変生意気なことも申し上げたと思えますが、お許し下さい。

第235回（8/30）例会において

（卓話担当 城倉 正博）